

2023年度大阪公立大学公開講座

ロシア・バレエと 日本の 歴史的関係

～ヨーロッパでの発祥から 日本に伝わるまで～



ロシアによるウクライナ侵攻後、ロシア文化をキャンセルする「キャンセル・カルチャー」が急激に広まるかに思われた時期もありました。しかし、今日でもロシア由来のバレエ作品は世界中で上演され続けています。ロシアと世界のバレエのつながりを解き明かし、日本のバレエ教育の展開や現状を理解するための手がかりとなればと思います。

講師：齋藤 慶子 大阪公立大学 文学研究科 特任講師

2023年

10/7(土)～12/9(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

- 会場：大阪公立大学I-siteなんば2階（大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル）
- 定員：60名（申込者多数の場合は抽選） ■対象者：どなたでも ■受講料：5,000円（全6回分）
- 申込方法：大学Webサイト「申込フォーム」から申し込みいただくか、「往復はがき」で（1）氏名（フリガナ）、（2）年齢、（3）郵便番号・住所、（4）電話番号、（5）このちらしの入手先 をご記入の上、下記宛先へお申し込みください。
※受講の可否は9/27(水)までに通知します。届かない場合は必ずお問い合わせください。

■申込フォーム：右記二次元コードまたは大学Webサイトからお申し込みください。

■往復はがき宛先 ※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル
大阪公立大学 社会連携課「ロシアバレエ」係

■問合せ先：大阪公立大学 社会連携課 TEL：06-7656-5112
FAX：06-7656-5203

大阪公立大学 生涯学習・公開講座 WEBサイト ▼

大阪公立大学公開講座

検索



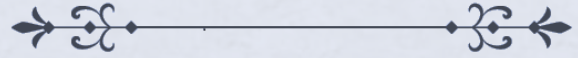
申込フォーム

4 質の高い教育を
みんなに



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

※お申込みの際の個人情報、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。



講師：斎藤 慶子
大阪公立大学 文学研究科 特任講師

講義スケジュール

第1回
10月7日(土)

イントロダクション：バレエ成立の歴史

バレエはイタリアで生まれ、フランスで育ち、ロシアで成熟した、とよく言われます。じつはそのロシアでも外国人が中心となってバレエの発展に貢献した歴史があります。バレエの国際性について解説します。

第2回
10月14日(土)

バレエ・リュス：世界のバレエ団の礎に

バレエ・リュスは、20世紀初頭の世界の芸術界に大きな影響を及ぼした、ロシアのバレエ団です。バレエ・リュスの参加者たちが、現在各国を代表するバレエ団の基礎を築いたことについて解説します。

第3回
10月28日(土)

ソヴィエト・ロシア：全国へのバレエ普及

革命直後は皇帝のための娯楽として糾弾されたバレエが、やがてソ連の文化政策に組み込まれ主要な位置を占めるようになりました。全国へバレエを普及させたその方策と、ソ連時代に特徴的なバレエ作品の演出法について解説します。

第4回
11月11日(土)

冷戦とバレエ：文化外交

冷戦構造を背景に、米ソは1950年代から世界各国に文化団体を派遣し、影響力を競い合いました。文化外交は一般にアメリカが勝利したとみなされていますが、バレエ分野では違った風景が見えてくることを説明します。

第5回
11月18日(土)

日本：国内初のバレエ学校

1960年東京都世田谷に、日本ではじめてのソ連式のバレエ学校が創立されました。日本のバレエ教育史の転換点です。この学校の成果によって、関西を含めた全国にソ連式バレエ教育が広く知られるようになったことを説明します。

第6回
12月9日(土)

ウクライナ：ソ連の遺産とナショナル・アイデンティティの確立

ロシアによるウクライナ侵攻は、ウクライナのナショナル・アイデンティティの形成を促しています。バレエにおいても、独自のレパートリー形成の模索が続いています。

※日程・講座内容等が変更となる場合があります。